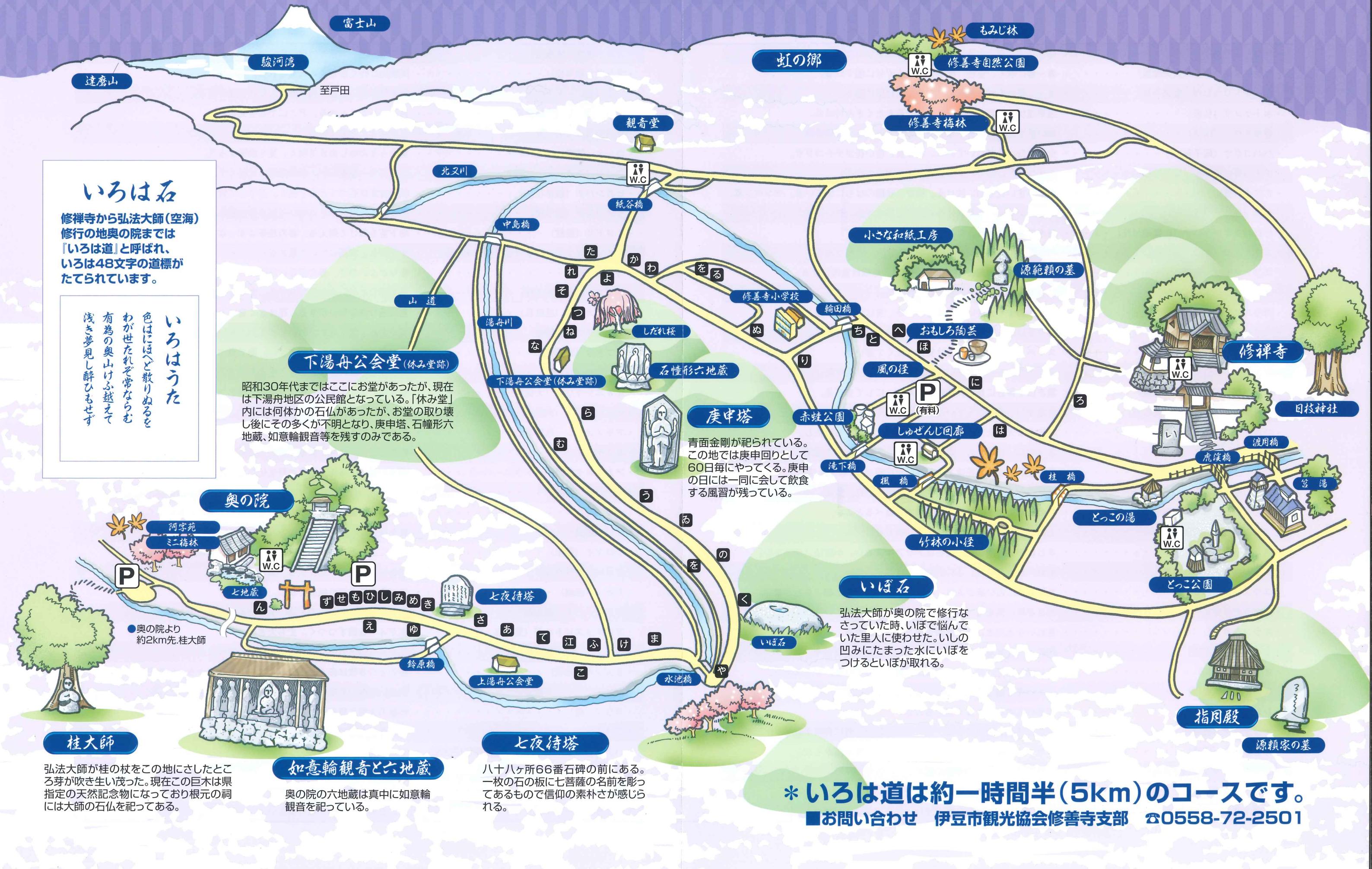


## 桂谷八十八ヶ所石碑

弘法大師ゆかりの修善寺桂谷には四国八十八霊場より大切に移された御砂の上に石碑が建てられています。毎年11月7日～9日には普段静かな山里も巡拝する遍路さんの鈴の音で賑わいます。

# 奥の院道 散策マップ



- ・ハコベ（繁縷）……………俗名ひよこ草、大きな葉をしたものはウシハコベ。食べられる。
- ・オオイヌノフグリ（大犬陰裏）……………春一番に咲く。空色。種子が犬のふぐりに似ている。
- ・ヒメオドリコソウ（姫踊子草）……………頂上に茶色の葉と桃色の花を沢山付け風に踊る。
- ・ホトケノザ（仏座）……………蓮華座状の葉の上に桃色の筒状の花をたくさん付ける。
- ・カキドウシ（垣通）……………細い茎を地面に広げ、薄い紫色の花を付ける。民間薬草。
- ・ハハコグサ（母子草）……………全身に白い毛がついている。花は黄。白い花がチコグサ。
- ・チコグサモドキ（父子草擬）……………チコグサに似ているが茶色の花を沢山つける。
- ・ナズナ（芥）……………白く小さい花を頭に付ける。種が三味線のぼちに似ている。ペンペニ草。
- ・タネツケバナ（種付花）……………スズメノテッポウと共に春の田の雑草の代表。白い小花。
- ・ヒロハタネツケバナ（広葉種付花）……………流水の脇に生える。辛みや香りがつまに好い。
- ・スズメノテッポウ（雀鉄砲）……………田の雑草の代表。穂を抜いて吹くときれいな音が出る。
- ・スズメノヤリ（雀槍）……………10cmくらいの細い花柄に茶色の花。球根は食用になる。
- ・スズメノエンドウ（雀豌）……………エンドウに似た細かい葉と花を付ける。
- ・カラスノエンドウ（烏豌）……………上のものより大きい葉と花をつける。実は笛にして遊ぶ。
- ・スイバ（酸葉）……………葉や茎は酸っぱく食べられる。軽く湯で三杯酢で食べる。
- ・ギシギシ（羊蹄）……………スイバより大きい葉。根は黄色で太くて深い。
- ・タンポポ（蒲公英）……………カントウタンポポが多い。図鑑を見ないと区別が難い。
- ・ヒロハタンポポ（広葉蒲公英）……………葉が広く伊豆に多い。花柄をきんびらにして食べる。
- ・セイヨウタンポポ（西洋蒲公英）……………総苞が引っ繰り返っている。単異生殖する。
- ・ハルノノゲシ（春芥子）……………刺のある大きな葉を付ける。花は黄色。湯でおしたし。
- ・ハルジオン（春紫苑）……………茎が空洞。蕾は垂れ、咲くと上を向く。強く困った雑草。
- ・ヒメジョオン（姫女苑）……………茎が空洞でない。花は上より遅いが花期が長い。白い花。
- ・コウゾリナ（髪剃菜）……………冬はロゼットを広げ寒さに耐える。黄色の花。食用。
- ・コオニタラビコ（小鬼田平子）……………春の七草のホトケノザ。軽く湯でて食べるとよい。
- ・オニタビラコ（鬼田平子）……………上のより大きく、全体細かい毛で被われている。
- ・スミレ（堇）……………さじ状の葉に紫の花。白花はアリアケスミレ。小型はノジスミレ。
- ・タチツボスミレ（立壺堇）……………葉状の葉に青い花。この辺のものは殆どこれ。
- ・ユキノシタ（雪下）……………丸型の葉に白い筋が入る。片面に衣を付けさっと揚げるとうまい。
- ・ヒマラヤユキノシタ……………大きな厚い葉をしている。花は桃色。上のと似ていない。
- ・オランダガラシ（クレソン）……………きれいな水のところに水面を被うように広がる。
- ・セキショウ（石菖）……………川の岸に生える。花を目にはめて遊ぶ。俗名メハジキ。
- ・オウバイ（黄梅）……………花は筒状花で六裂。擬の方は二重花になっている。ジャスミン。
- ・ユキヤナギ（雪柳）……………小さい花を枝一杯に付けるから美しい。
- ・レンギョウ（連翹）……………早春の花木として良く植えられる。
- ・ヤブツバキ（藪椿）……………野山に自然と生えている。実から油を取り。杵に利用される。
- ・カンツバキ（寒椿）……………サザンカと椿の中間種。佗助は花が小さく先が広がらない。
- ・ジュウガツザクラ（十月桜）……………秋に咲き残ったものが春に咲く。
- ・シュゼンジカンザクラ（修善寺寒桜）……………3月20日頃咲く。花はピンクで大きい。
- ・ミツマタ（三叉）……………枝が3つに分かれる。紙の原料。赤花はベニミツマタ。

- ・オカメサザ（阿亀笹）……………西の市の時、お宝を付けるのに使われる。
- ・オシダ（雄羊齒）……………天城山に行くとたくさん見られる。
- ・ニラ（韭）……………栄養価の高い野菜。刈り取ると年中収穫できる。
- ・タカサゴユリ（高砂百合）……………台湾にたくさんある。どこにでも生える。
- ・キバナコスモス（黄花秋桜）……………どんなところでも育つ。
- ・カンナ（鉢蓉）……………夏から冬のはじめまで咲く。夏を象徴する花。
- ・フヨウ（芙蓉）……………秋の花で一番美しい。日本庭園にはなくてはならない花。
- ・ヒガンバナ（彼岸花）……………秋の彼岸が近づくと必ず咲く。どうして時を知るのか。
- ・イノコズチ（猪子槌）……………種が実ると衣服などについてなかなか取れない。
- ・イタドリ（虎杖）……………地下茎を広げて殖える。春の若芽はすっぱくておいしい。
- ・アメリカセンダングサ（亞米利加栴檀草）……………種が実ると衣服について取れない。
- ・ヨモギ（蓬）……………香りがよいので、春の若芽は草餅に入れる。冷蔵庫で保存する。
- ・ヤブニッケイ（藪肉桂）……………葉を揉むとにっきの香りがする。アセモノの薬になる。
- ・ヘクソカズラ（屁糞葛）……………名の通り嫌な匂いがする。花はよく見ると美しい。
- ・ヤマブドウ（山葡萄）……………実が実ると黒くなる。おいしくて山の良い土産になる。
- ・ノブドウ（野葡萄）……………実が実ると空色になって美しい。毒で食べられない。
- ・メヒシバ（雌日芝）……………ハグサと呼ばれ空き地に良く生えるので大の嫌われもの。
- ・オオニシキソウ（大錦草）……………空き地によく生える。白い汁が出てべとつく。
- ・イヌホウズキ（犬酸漿）……………小さなほうずき状の実をつける。
- ・アキノノゲシ（秋野芥子）……………葉や茎を切ると白い乳液が出る。食べられる。
- ・ムクゲ（木槿）……………韓国の国花。7月に剪定すると10月にまた花が咲く。
- ・アカツメクサ（レッドクローバー）……………明治の初期に帰化。牧草が野生化したもの。
- ・ミソハギ（禊萩）……………7月の終わり頃満開になる。お盆花という地方もある。
- ・クコ（杞）……………動脈硬化の薬になる。秋の終わり頃赤くて美しい実がつく。杞茶。
- ・ソバ（蕎麦）……………実を粉にするとそば粉になる。1年に2回作付できる。
- ・クロマイ（黒米）……………健康によいとのことで最近はいろいろな食品に加工される。
- ・ウイービングラブグラス……………崩れやすい土手に蒔かれる。葉が凄く丈夫。
- ・アカソ（赤麻）……………皮が丈夫で衣服の繊維になる。
- ・ヌスピトハギ（盜人萩）……………二つずつ実が人の足跡に似ている。衣服につく。
- ・アレチヌスピトハギ（荒地盜人萩）……………実が4~5個ずつつく。丈も大きい。
- ・センニンソウ（仙人草）……………花が真っ白で沢山付き美しい。毒草。薬草にもする。
- ・ミズシキ（水引）……………花の上の3枚は赤く、下の一枚は白いところからついた名。
- ・タマアジサイ（玉紫陽花）……………沢沿いに咲いた様子は特にきれい。煙草の代用。
- ・コウゾ（楮）……………和紙の大切な原料。
- ・フユイチゴ（冬苺）……………冬になると実が赤く熟しおいしい。
- ・ハナゾノツクバネウツギ（花園衝羽根空木）……………アベリア。
- ・コマツヨイグサ（小待宵草）……………夕方咲き朝萎む。オオマツヨイグサもこの仲間。
- ・ヤマハギ（山萩）……………万葉集の代表花で124首に読まれている。
- ・フュサンゴ（冬珊瑚）……………冬になると実が赤くなり美しい。冬を飾る花。